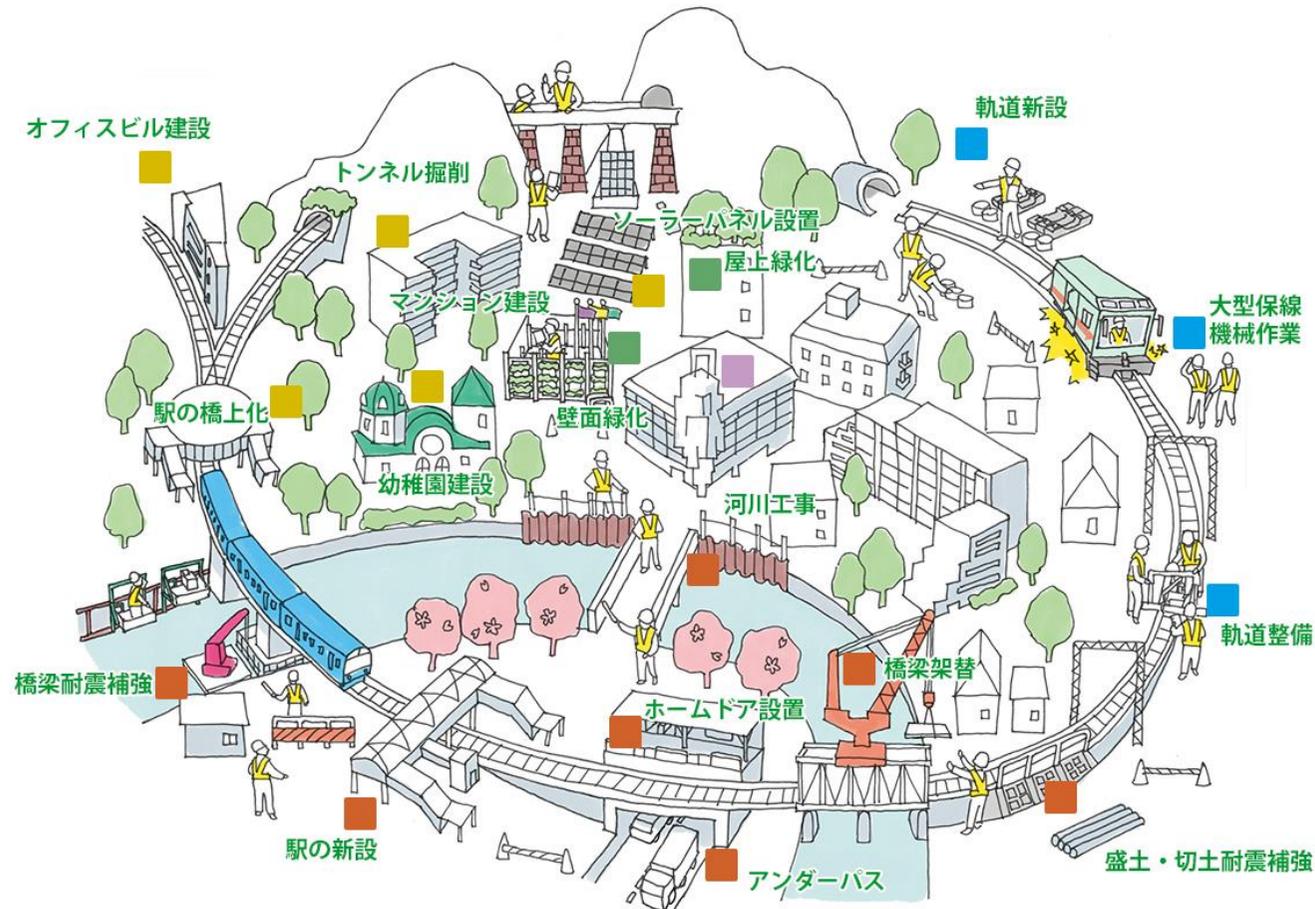




誠実で☆キラリと光る☆ナンバーワン&オンリーワン

 **TOTETSU**



2023年9月

東鉄工業株式会社(東証プライム:1835)



## 目次

1. 会社概要	3~12
2. 業績推移と数値目標	13~15
3. 株価推移	16
4. 長期ビジョン「TOTETSU VISION 100」	17~24
5. 人材戦略 ~ 『人材力』を高める~	25
6. 参考	26

## 出席者

代表取締役社長	前川 忠生
取締役専務執行役員 経営企画本部長	下村 光

## 社長プロフィール



代表取締役社長  
前川 忠生 (まえかわ ただお)

---

1955年	兵庫県出身
1981年	東京大学 工学部 土木工学科 卒業 日本国有鉄道 入社
1987年	東日本旅客鉄道株式会社 入社
2016年	同社 常務取締役東京支社長
2019年	同社 代表取締役副社長 鉄道事業本部長
2021年	東鉄工業株式会社 代表取締役社長就任

---

# 1. 会社概要

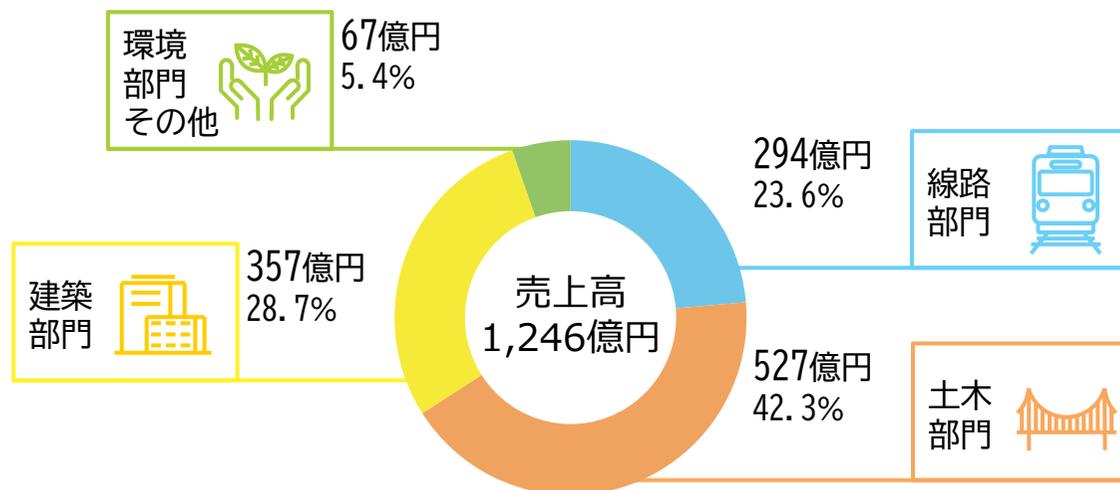


## 鉄道関連工事の専門技術をコアコンピタンスとする総合建設業

社名	東鉄工業株式会社 (TOTETSU KOGYO CO., LTD.)		
本社	東京都新宿区信濃町34番地		
設立	1943年 (昭和18年) 7月7日		
資本金	28億1,000万円		
代表者	代表取締役社長 前川 忠生		
従業員数	1,883人 (連結)		
グループ会社 (連結子会社)	● 東鉄機工株式会社 ● 東鉄メンテナンス工事株式会社 ● 株式会社全溶 ● 興和化成株式会社 ● 東鉄創建株式会社		
売買単位	100株		
株主構成	主要株主については7ページをご参照		

## 2023年3月期部門別売上高・構成比

部門	売上高	構成比
線路部門	294億円	23.6%
土木部門	527億円	42.3%
建築部門	357億円	28.7%
環境部門その他	67億円	5.4%



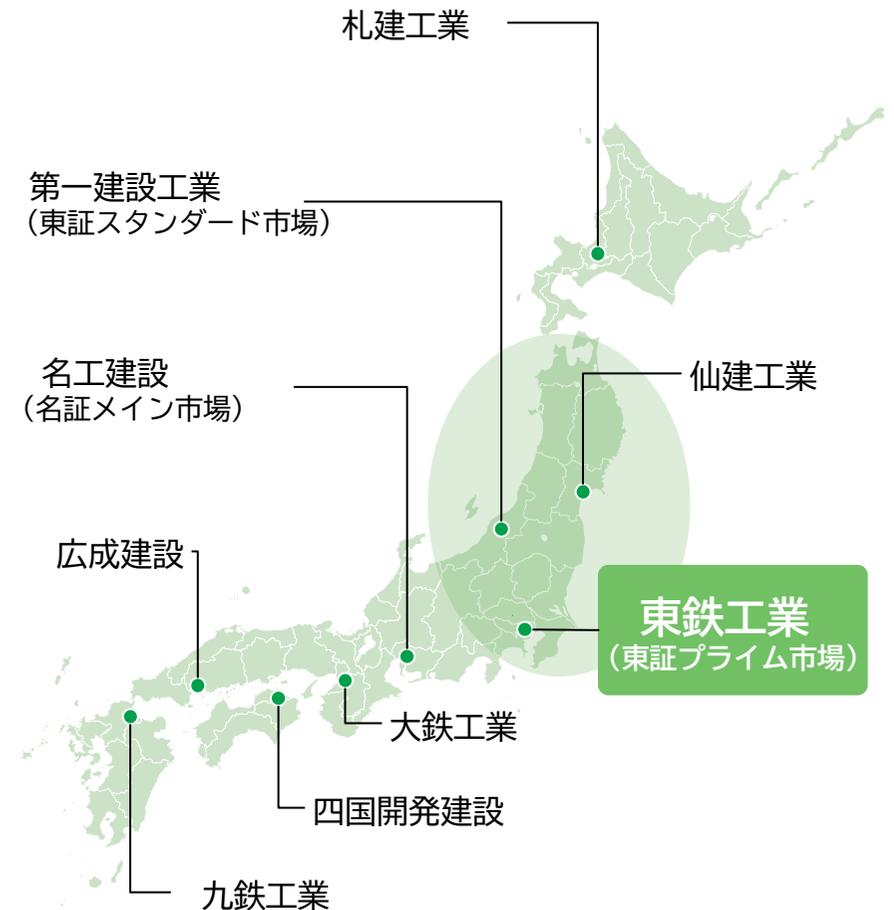
# 1. 会社概要



## 設立以来80年の歴史

1943年7月 (昭和18年)	「東京鐵道工業株式会社」設立 鐵道の保持・強化を目的に、当時の鐵道省の要請により、関東地方の建設業者が企業合同し、国策会社「東京鐵道工業株式会社」として、丸の内1丁目1番地に設立
1952年7月 (昭和27年)	商号を「東鉄工業株式会社」に変更
1953年3月 (昭和28年)	本店を東京都千代田区神田仲町1丁目5番地に移転
1962年11月 (昭和37年)	株式を東京証券取引所市場第二部に上場
1963年8月 (昭和38年)	本店を東京都新宿区市谷砂土原町2丁目7番地に移転
1972年10月 (昭和47年)	株式を東京証券取引所市場第一部に上場
2005年1月 (平成17年)	本社を東京都新宿区信濃町34番地に移転
2022年4月 (令和4年)	市場区分再編に伴い、上場市場を東京証券取引所プライム市場に移行

## 鐵道省（当時）の要請により 設立した会社





## 経営理念

### ～安全はすべてに優先する～

東鉄工業グループは、鉄道専門技術の特性を活かした総合建設業として、安全で快適な交通ネットワークと社会基盤の創造に貢献いたします。

## 事業ビジョン

鉄道の保守・改良をはじめとする鉄道関連工事のリーディングカンパニーとして、その高い専門的技術力と高品質な施工実績による信頼を基に、健全なインフラの構築・維持及び良好な環境の創造と保全を通じて、安全・安心で地球環境に配慮した持続可能な社会の実現に貢献し、専門プロ集団として、建設業界に独自の地歩を確保してまいります。

## コーポレートメッセージ

誠実で ☆キラリと光る☆ ナンバーワン & オンリーワン

ステークホルダーから  
信頼される  
「誠実な経営」の推進

専門技術と豊富な経験で、  
最高レベルの  
安全と品質を提供

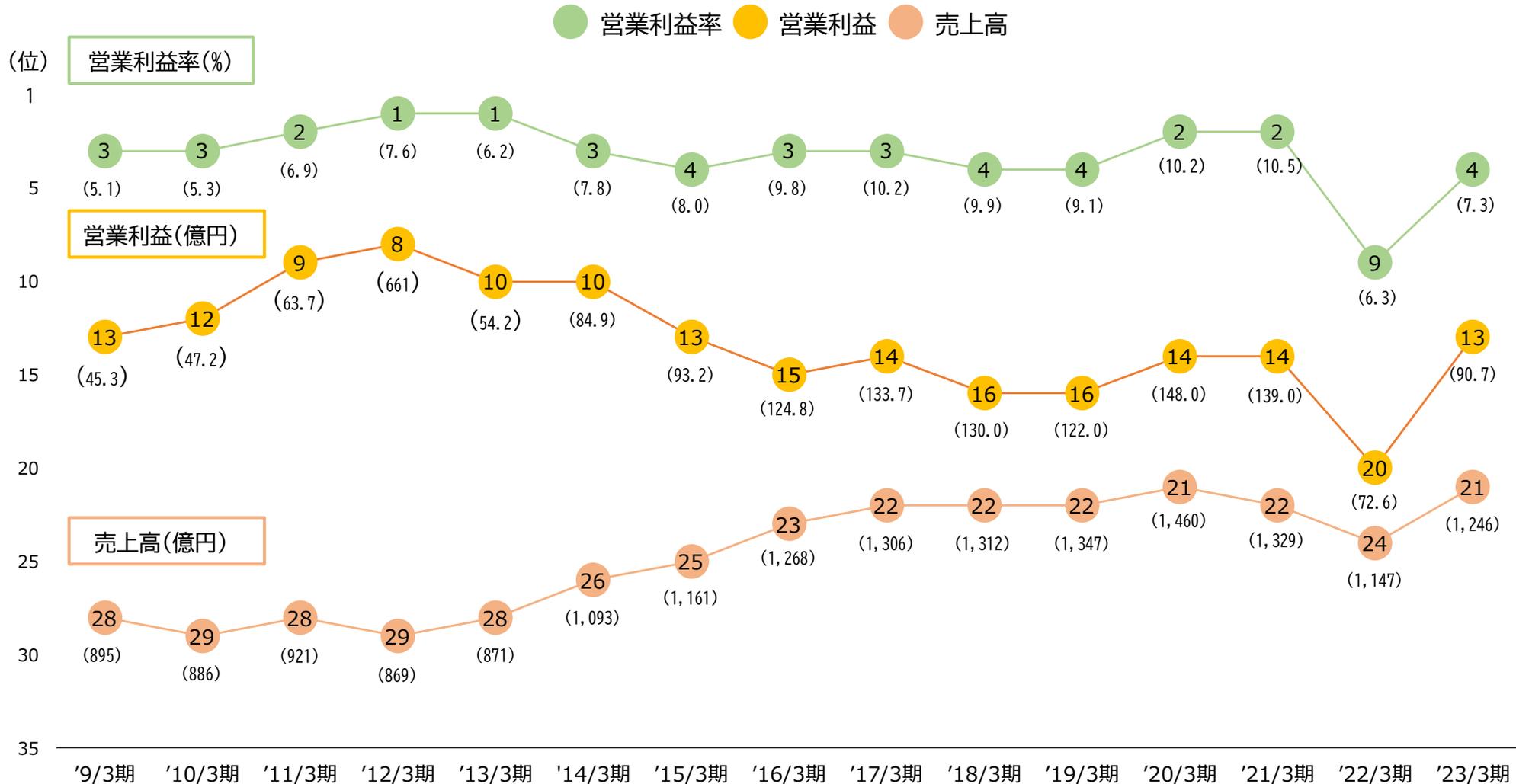
鉄道インフラの  
メンテナンス分野で  
ナンバーワン

線路、土木、建築、環境の  
4分野の独自性と  
相互シナジー

# 1. 会社概要



## 主要財務指標の業界順位（過去15年間）



注1：建設経済研究所による主要建設会社決算分析40社の内、プライム、スタンダード市場上場33社を対象

注2：上記数値及び指標は連結決算ベースで集計（受注高のみ単体集計）数値及び順位については一部推定によるものも含む

注3：出典：2023年3月期決算短信

# 1. 会社概要

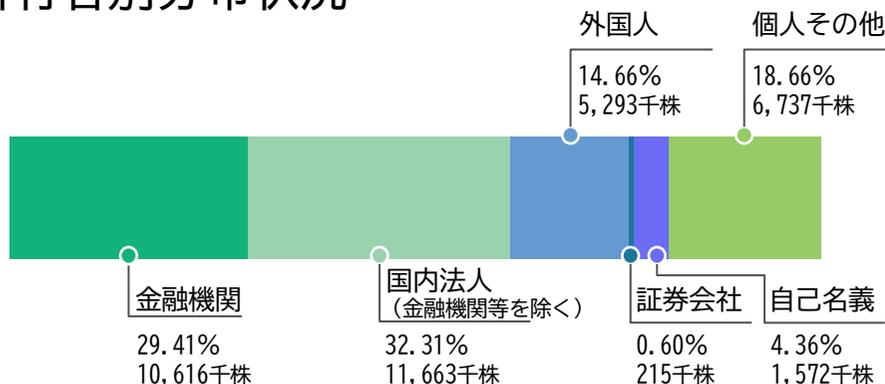


## 株主構成 大株主の状況（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数（千株）	持株比率（%）
東日本旅客鉄道株式会社	6,699	19.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,148	12.02
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	2,871	8.32
日本電設工業株式会社	1,088	3.15
東鉄工業社員持株会	822	2.38
明治安田生命保険相互会社	731	2.12
G O V E R N M E N T O F N O R W A Y	621	1.80
第一建設工業株式会社	547	1.59
日本生命保険相互会社	537	1.56
みずほ信託銀行株式会社	525	1.52

※当社は、自己株式を1,572千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 ※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況



所有者	持株数（千株）	持株比率（%）
金融機関	10,616千株	29.41%
国内法人	11,663千株	32.31%
外国人	5,293千株	14.66%
証券会社	215千株	0.60%
自己名義	1,572千株	4.36%
個人その他	6,737千株	18.66%



「鉄道」を軸に、相互にシナジーを発揮する4つの事業部門

## 線路事業

- JR東日本を中心に、線路メンテナンス工事シェア我国No.1
- 高性能な大型保線機械を活かした施工力
- 軌道新設工事（新幹線・地下鉄・私鉄）首都圏プロジェクトの実績豊富



鉄道関連工事の  
リーディングカンパニー

高い専門的  
技術力

高品質な  
施工実績

## 土木事業

- 鉄道土木関連特殊工法に強み
- 耐震補強の実績豊富
- 防災・立体交差工事等の高い技術力
- 整備新幹線の実績豊富

## 建築事業

- 駅関連施設／鉄道近接建物に強み
- マンション・オフィス・店舗・工場等の実績豊富
- リニューアル・耐震補強等の受注拡大中
- 環境事業と協働で、ワンストップショッピング戦略、一気通貫戦略を展開中

## 環境事業

- ECO（エコ）関連ビジネス積極展開中
- 緑化（壁面・苔）・太陽光発電・アスベスト除去
- ZEB化・暑熱対策事業にも注力
- 他部門とのシナジーを活かした事業展開



## レール削正車



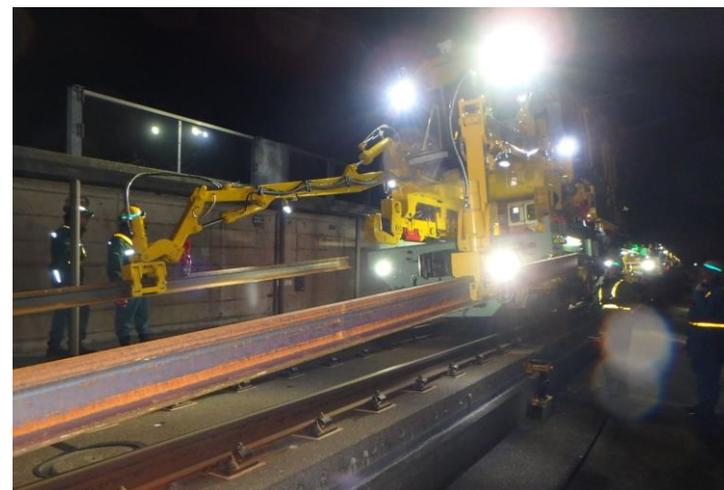
## マルチプルタイタンパ



## 北陸新幹線 小松軌道敷設



## REXS (新幹線レール交換システム)





JR只見線  
第七只見川橋りょう災害復旧工事



小名浜～常磐自動車道  
常磐自動車道 小名浜道路新設工事



新幹線トンネル耐震補強工事  
「新STARS」



JR総武線（スマートホームドア®）  
JR小岩駅ホームドア新設に伴うホーム改良工事





## 日比谷OKUROJI新築工事



## ホテルメッツ秋葉原新築工事



## 新大久保駅 駅舎改良工事



## ヤマデンNSJ新築工事





JR武蔵野線 東所沢駅  
リニューアルに伴う壁面緑化工事



新横浜公園周辺における  
緑化による暑熱対策事業



JR上野駅公園口壁面緑化



熱田神宮  
くさなぎ広場東屋屋根苔緑化



## 2. 業績推移と数値目標



### '23/3期実績及び'24/3期計画値

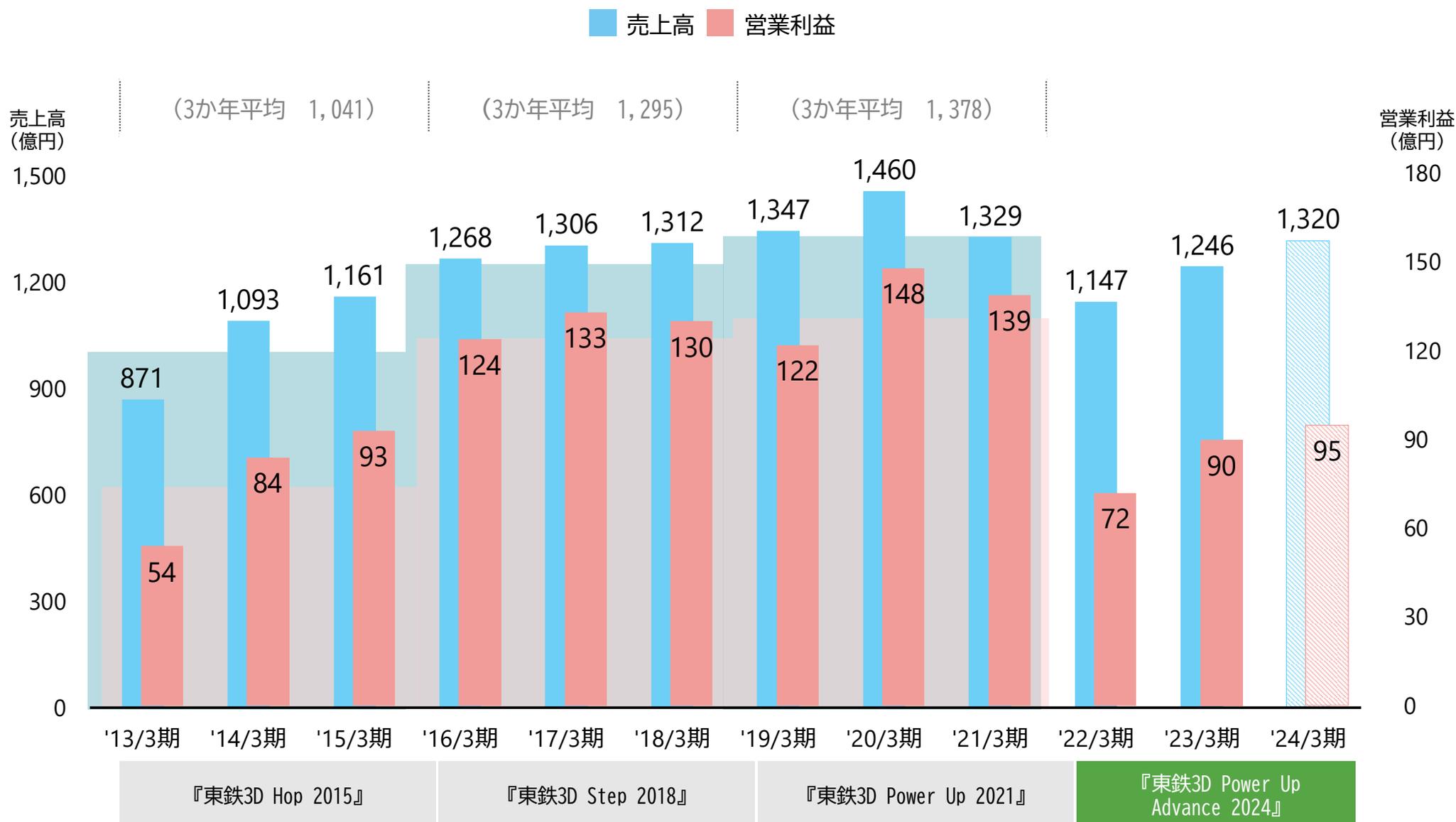
(百万円、%)

科目	' 22/3期	' 23/3期			' 24/3期
	実績	実績	' 22/3期比		計画値
			増減額	増減率	
前期繰越高	78,798	90,651	+11,852	(+15.0%)	96,889
受注高	118,286	124,155	+5,869	(+5.0%)	126,000
売上高	114,718	124,661	+9,943	(+8.7%)	132,000
売上総利益 (率)	14,784 (12.9%)	17,393 ( 14.0%)	+2,608	(+17.6%)	18,050 ( 13.7%)
販管費 (率)	7,523 (6.6%)	8,322 ( 6.7%)	+799	(+10.6%)	8,550 ( 6.5%)
営業利益 (率)	7,261 (6.3%)	9,070 ( 7.3%)	+1,809	(+24.9%)	9,500 ( 7.2%)
経常利益 (率)	7,576 (6.6%)	9,487 ( 7.6%)	+1,911	(+25.2%)	9,950 ( 7.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	5,326 (4.6%)	7,905 ( 6.3%)	+2,579	(+48.4%)	7,000 ( 5.3%)
次期繰越高	90,651	96,889	+6,238	(+6.9%)	99,075
ROE	5.5%	7.9%	+2.4%	—	—
総還元性向	54.9%	40.1%	▲14.8%	—	—

## 2. 業績推移と数値目標



### 実績推移と数値目標（売上高・営業利益）

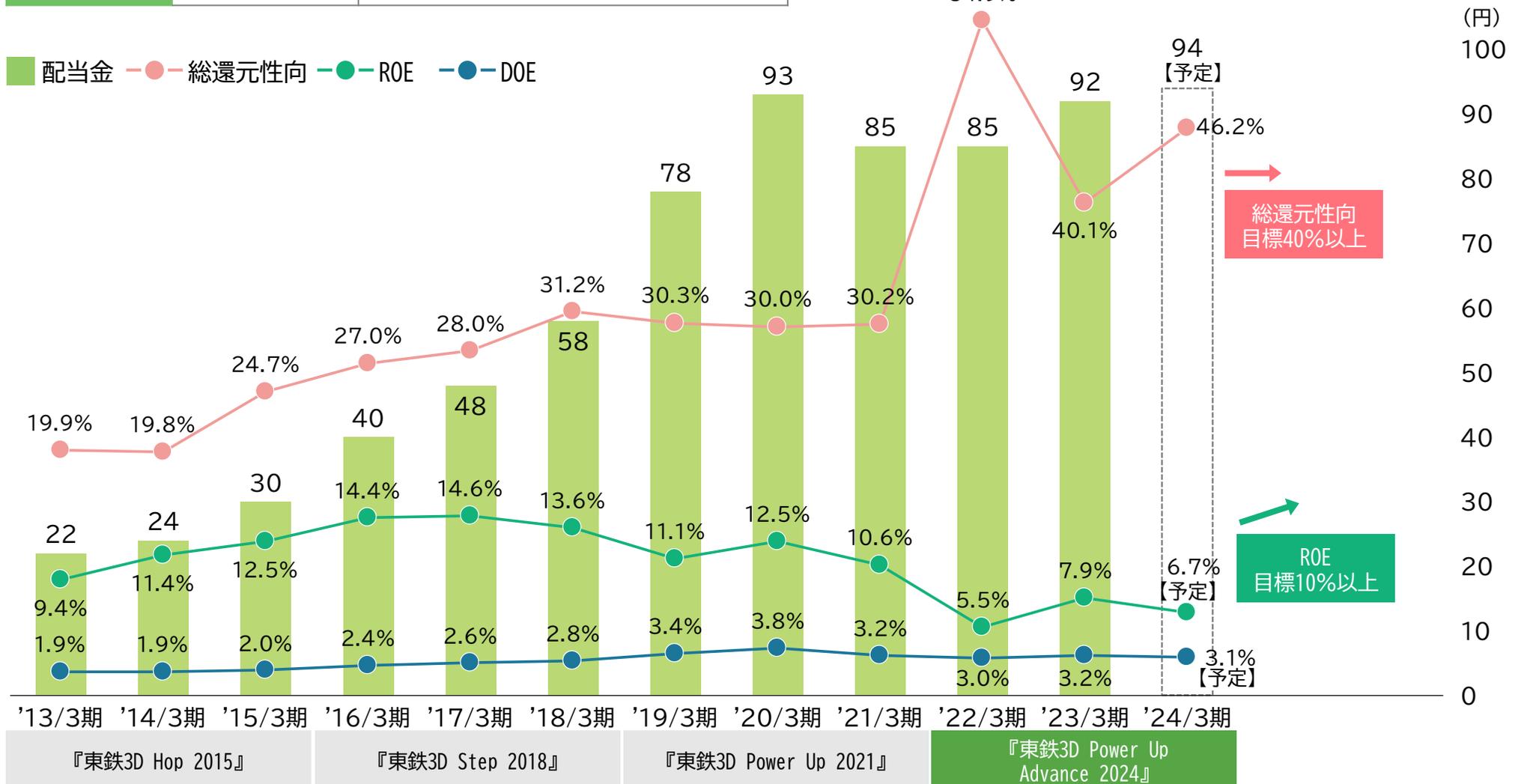


## 2. 業績推移と数値目標



### 実績推移と数値目標（資本効率・株主還元）

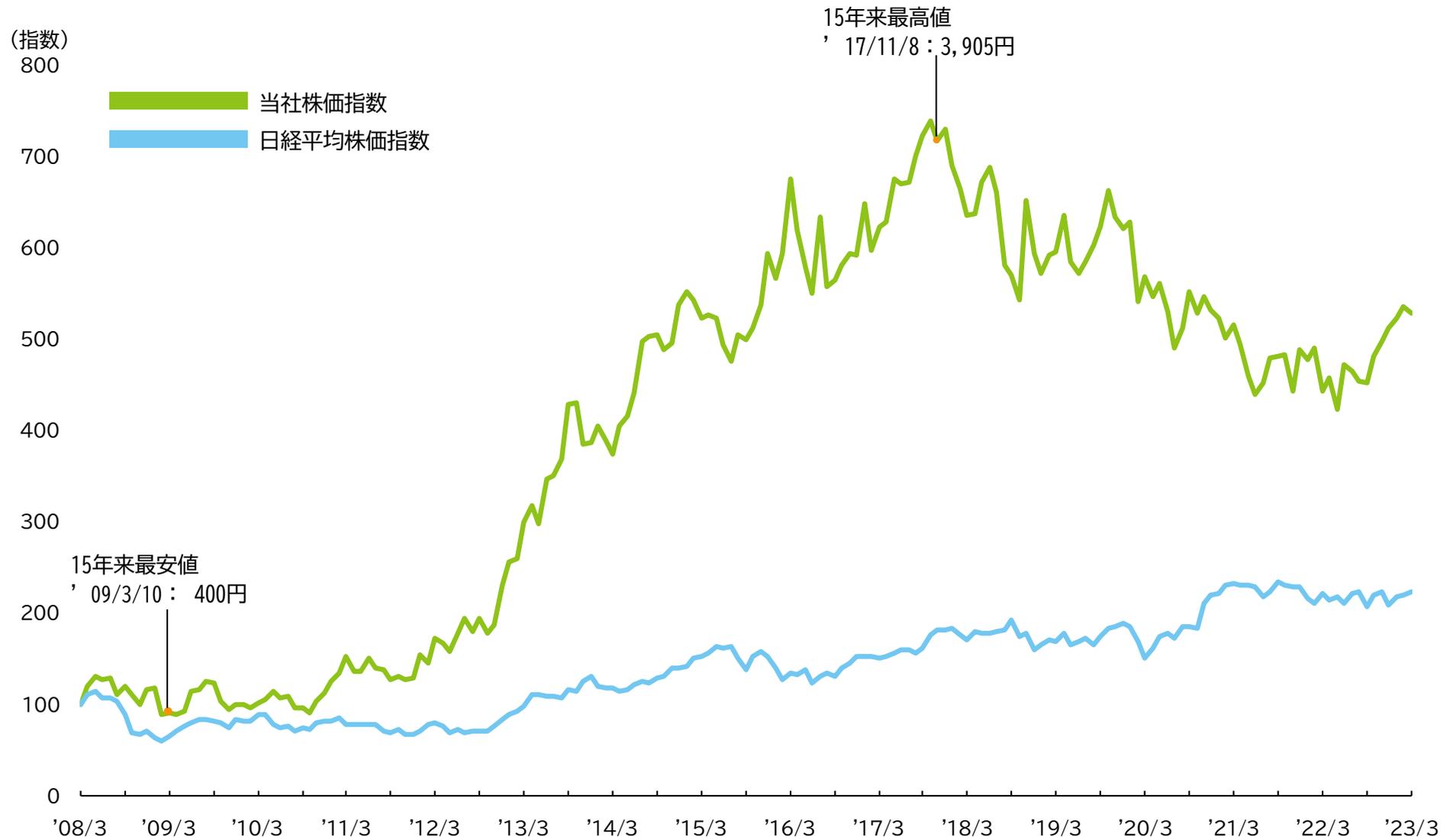
中計目標 '24/3期	ROE	10%以上を目標
	総還元性向	40%以上を目標 【DOEも意識した安定的な株主還元】



# 3. 株価推移



## 株価推移



※'08年3月末日の終値を100とした場合

# 4. 長期ビジョン「TOTETSU VISION 100」



## 長期ビジョン「TOTETSU VISION 100」ロードマップ

当社グループが 2043年に目指す姿: **交通インフラメンテナンスのリーディングカンパニー**

鉄道工事業界において「ナンバーワン」、  
建設業界において「オンリーワン」であり続ける

「すべてのステークホルダーが安心して暮らせる社会創り」  
に貢献するため、「持続的成長」を実現

### ナンバーワン

鉄道の「安全・安定輸送」を支えるスペシャリスト、  
他社をはるかに凌駕する鉄道工事施工ノウハウの蓄積

### オンリーワン

一般建設工事とのシナジー効果、  
鉄道工事で磨いた高付加価値な施工力を活かした  
社会インフラのメンテナンス事業拡大

### 持続的成長

ステークホルダーからの信頼・共通価値の創造、  
誰もが「安心や希望」を感じられる未来の創造

創業  
**100**  
周年



創業100周年に向けたJump

### 安全戦略

ナンバーワン

### 受注戦略

ナンバーワン  
オンリーワン

### 生産性 向上戦略

ナンバーワン

### 人材戦略

持続的成長

### ESG戦略

持続的成長

～安全はすべてに優先する～  
変わらぬ「社会的使命」を果たす

- 鉄道工事の安全性と品質を向上し、  
鉄道工事における不動の「ナンバーワン」を  
ゆるぎないものにする
- さらに、一般建設工事においても、  
安全・品質の「ナンバーワン」に挑み、  
発注者の信頼を高める

- 社会インフラのメンテナンス事業のうち、施工環境や  
条件の厳しい難工事、高い技術力を要する大規模工事  
など、当社が培ってきた付加価値の高い鉄道工事の  
施工力を活かし、建設業界において「オンリーワン」  
の存在として業域を拡大する
- 東日本管内の鉄道工事「ナンバーワン」として  
公民鉄のメンテナンス事業を拡大する

- 技術開発力、グループ会社・協力会社を含めた総合力を高め、  
鉄道工事の技術力・専門性を更に磨き上げることで、  
鉄道工事業界を牽引する「ナンバーワン」であり続け、  
鉄道工事の生産性を向上する
- その総合力を一般建設工事にも応用し、  
生産性向上とともに事業を拡大する

- 当社グループと協力会社、鉄道メンテナンスのすべての関係者の  
「働き方満足度」を向上させる
- それにより、会社を発展させすべてのステークホルダーに寄与する
- 鉄道メンテナンス体制を将来的に維持し続けるためにも、当社グループ  
のみならず、サプライチェーン全体の賃金上昇も意識した経営を行う

- 環境保全、働き方改革、ガバナンスの深化など、社会からの要請に誠実に対応し、  
すべてのステークホルダーに信頼される企業になる
- 環境負荷削減技術を他社へも展開し、  
カーボンニュートラル実現に向けて鉄道工事業界を牽引する

創業  
**80**  
周年

2030年

2040年

2050年

### これまでの10年間

- JR東日本とのパートナーシップに基づく、盤石な受注体制
- 鉄道工事で磨いた高付加価値な施工力による、高い利益率

### 安定した業績、圧倒的に健全な財務内容

- ※ 安定性 [10年平均 '13/3期～'22/3期]  
自己資本比率 ..... 59.5%
- 経営事項審査Y評点'21/3期まで9期連続No.1
- ※ 収益性 [10年平均 '13/3期～'22/3期]  
自己資本当期純利益率(ROE) ..... 11.6%
- 売上高営業利益率 ..... 8.8%

### 社会経済

- 好影響の要素 ▶ インパウンド需要の回復による鉄道旅客者数増加、防災・減災分野の拡大 / 社会インフラの維持・メンテナンス・長寿命化への要請  
挑戦する課題 ▶ 長時間労働の法規制、資材価格高騰、担い手不足 / 2030年SDGs達成・2050年カーボンニュートラル、AI活用・DX推進

### JR施策

- 新幹線レール更新 (REXS)
- ホームドア整備
- 耐震補強工事 (第3期) [事業規模 4,500億円]
- 羽田アクセス線整備 [事業規模 2,800億円]
- 新幹線大規模改修 [事業規模 1兆円]
- モーダルシフトによる貨物鉄道需要の高まり

### 公民鉄施策

- 鉄道メンテナンス事業 (維持更新)
- 鉄道近接・横断部の社会インフラの維持要請

### その他施策

- 国土強靱化対策 [事業規模 15兆円]
- 北海道新幹線 [事業規模 2.3兆円]
- インパウンド需要の回復に伴うホテル・商業施設等の建設増加
- カーボンニュートラル対応に向けた、太陽光・風力発電などエネルギー関連施設への投資

# 4. 長期ビジョン「TOTETSU VISION 100」

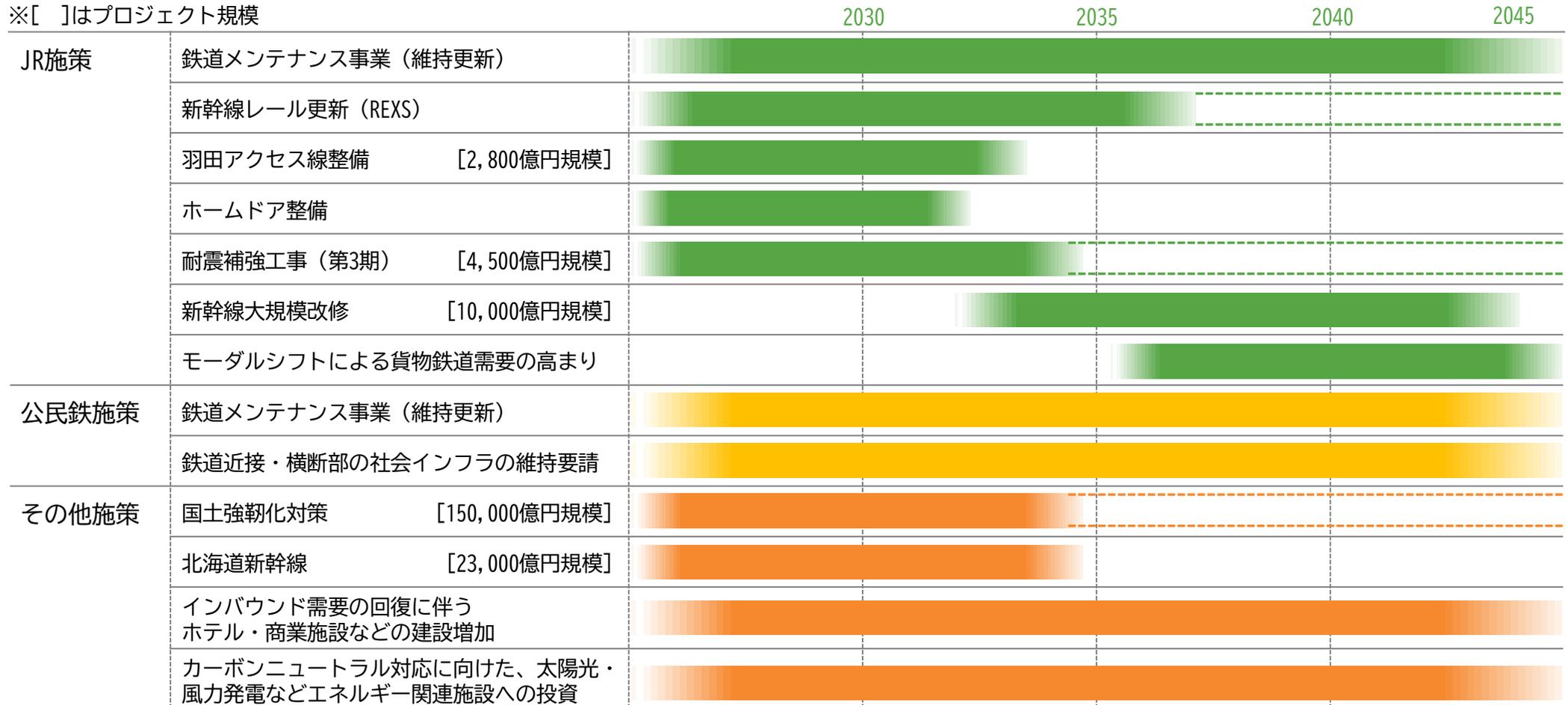


## 市場環境の見通し

長期的には大型プロジェクトや社会課題への対処など、市場環境は明るいと認識しています。

社会経済	好影響の要素	インバウンド需要の回復による鉄道旅客数増加、防災・減災分野の拡大／社会インフラの維持・メンテナンス・長寿命化への要請
	挑戦する課題	長時間労働の上限規則、資材価格高騰、担い手不足／2030年SDGs達成・2050年カーボンニュートラル、AI活用・DX推進

※[ ]はプロジェクト規模





### 人材戦略



Goal ▶ 長期にわたる「持続的成長」を目指す

### 20年後に目指す姿

- 「働き方満足度」を向上させる当社グループと協力会社、鉄道メンテナンスのすべての関係者  
▶ それにより、会社を発展させ、すべてのステークホルダーに寄与する
- 鉄道メンテナンス体制を将来的に維持し続けるためにも、当社グループのみならず、サプライチェーン全体の賃金上昇も意識した経営を行う

### 取組みの方向性

- 業務のスリム化・システム化による、業界トップクラスの「働き方満足度」
- 「自己実現に繋がる、積極的な自己研鑽」を後押しする人事制度の改革
- 「東鉄総合研修センター」での実効性のある教育・訓練の強化と人材育成投資強化
- 担い手不足の課題に対処し、長期的な視点で鉄道メンテナンス体制を維持・向上させるための協力会社との連携・支援の強化
- 「就職を勧めたくなる」職場づくりに会社と社員が協働



ESG戦略



Goal

長期にわたる「持続的成長」を目指す

## 20年後に目指す姿

- 環境保全、働き方改革、ガバナンスの深化など、社会からの要請に誠実に対応し、すべてのステークホルダーに信頼される企業になる
- 環境負荷削減技術を他社へも展開し、カーボンニュートラル実現に向けて鉄道工事業界を牽引する

## 取組みの方向性

E

- カーボンニュートラル実現への道筋を示す
- 化石燃料使用削減／ZEB化／(苔)緑化／暑熱対策設備／太陽光・風力発電 研究

S

- 国土強靱化（インフラの防災・減災・長寿命化など）等の社会課題にお客様と協働し挑戦

G

- 安定的かつ積極的な配当を実現
- 「攻め（収益／資本効率）」と「守り（リスク管理）」の両方を重視  
コーポレートガバナンス経営の推進・強化



### 安全戦略



Goal

「ナンバーワン」を目指す

### 20年後に目指す姿

- 鉄道工事の安全性と品質を向上し、鉄道工事における不動の「ナンバーワン」をゆるぎないものにする
- さらに、一般建設工事においても、安全・品質の「ナンバーワン」に挑み、発注者の信頼を高める

### 取組みの方向性

- 強固なパートナーシップの下鉄道の「安全・安定輸送」で、「お客さまの死傷事故ゼロ、施工不良による列車運休・遅延ゼロ」を実現
- 安全確保への投資を強化し、体制構築と技術開発を促進
- IT、AIの活用、DXなど、最新技術を積極的に活用し、ハード・ソフトの両面より「事前予防・対策」を強化
- 「究極の安全」と「確かな安心」を創り、「顧客満足度ナンバーワン」を目指す
- 当社グループの安全・品質レベルを強化、「鉄道メンテナンス体制」「災害復旧への即応力」を維持継続



受注戦略



Goal

「オンリーワン」を目指す  
「ナンバーワン」を目指す

### 20年後に目指す姿

- 社会インフラメンテナンス事業のうち、施工環境や条件の厳しい難工事、高い技術力を要する大規模工事など、当社が培ってきた付加価値の高い鉄道工事の施工力を活かし、建設業界において「オンリーワン」の存在として業域を拡大する
- 東日本管内の鉄道工事「ナンバーワン」として公民鉄のメンテナンス事業を拡大する

### 取組みの方向性

- 「鉄道工事で磨いた高付加価値な施工力（ノウハウ）」を、一般建設工事へ活用  
培った技術力を共有することで、相互に施工力を高め、社会課題の解決に寄与
- 鉄道メンテナンスを東日本管内の公民鉄へも拡大
- エンジニアリング部門の強化
- グループ経営戦略を拡充し、鉄道関連部材の開発販売や、交通インフラの一气通貫管理に挑戦
- 鉄道交差部をはじめとする社会インフラのライフサイクル全体を担う
- 高品質・高効率・低コストな、技術・サービス・商品の提供



生産性向上戦略



Goal

「ナンバーワン」を目指す

20年後に目指す姿

- 技術開発力、グループ会社・協力会社を含めた総合力を高め、鉄道工事の技術力・専門性を更に磨き上げ、鉄道工事業界を牽引する「ナンバーワン」であり続け、鉄道工事の生産性を向上する
- その総合力を一般建設工事にも応用し、生産性向上とともに事業を拡大する

取組みの方向性

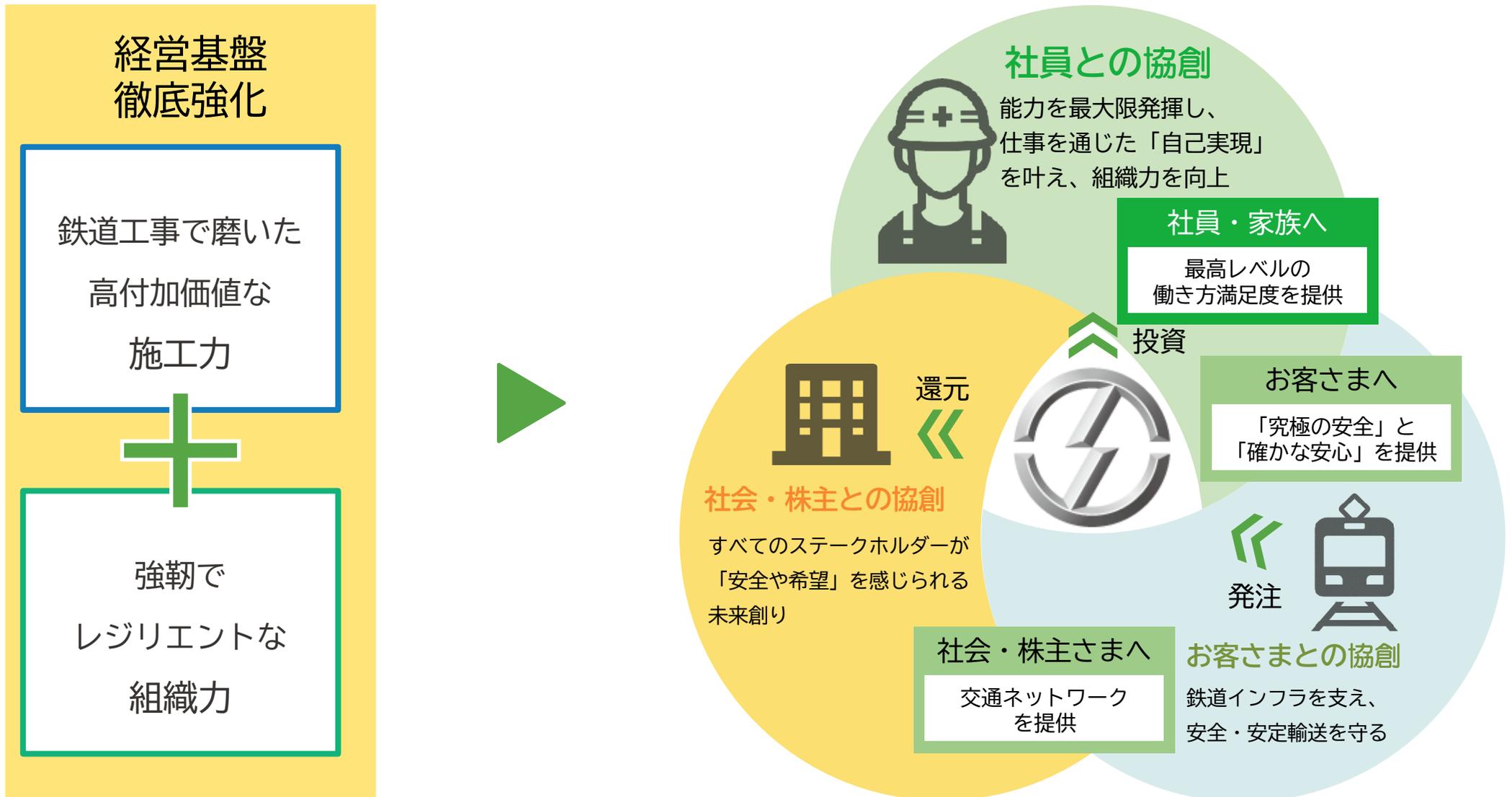
- 鉄道工事を中心とした「東鉄型イノベーション」の推進時代の変化に柔軟に対応
  - 鉄道固有技術の開発による専門技術力向上
  - 新幹線大規模改修の効率化に向けた各種研究・開発
  - JRグループのDX知財・技術の利活用を通じた「スピード感のある新技術の共同開発」
- 技術開発力の強化
- 機械化・システム化による効率化・省力化
- 保線用機械メンテナンス体制の強化、システム構築
  - 他社保有の保線機械管理拡大も視野に

# 4. 長期ビジョン「TOTETSU VISION 100」



## ■ ステークホルダーとの協創

経営基盤を徹底強化し、投資とステークホルダーへのサービス提供の好循環を実現いたします。これらの「つながり」を一層強化することで、「共通価値の創造」を実現してまいります。



## 5. 人材戦略 ～ 『人材力』を高める～



### 「東鉄総合研修センター」を活用した人材育成の強化

協力会社を含めた当社グループの人材育成を強化し、当社の強みにさらに磨きをかけ、より難度の高い工事やより幅広い工事に挑戦するための人的資本の更なる拡充を進めています。

敷地面積 約4万㎡（東京ドームグラウンド3個分）



#### 安全戦略

安全レベルの抜本的な向上のための社員、協力会社への安全研修を実施

#### 生産性向上戦略

耐震補強工事の更なる生産性向上のための協力会社への研修を実施

### 協力会社との共同研修（2023年3月3日開催）

東鉄総合研修センターで、電化柱耐震補強研修を実施

当社社員及び協力会社1社の社員を講師とし、協力会社4社の社員へ研修（計24名）





## 当社ホームページ

当社ホームページでは、ニュースリリースを適時掲載しているほか、事業案内、企業情報、サステナビリティなどの情報を詳しく掲載しています。IR情報のページでは、IRニュース、中期経営計画、株主総会情報、各種IR資料を掲載しています。

東鉄工業

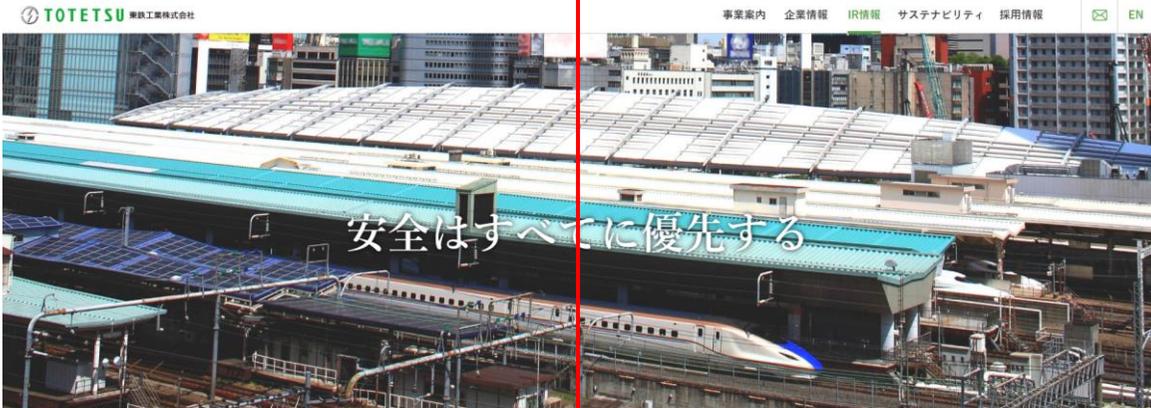
検索



ニュース

2022.08.09	決算・通社報告	「株式報酬制度」の導入に伴う自己株式の処分に関するお知らせ (115KB)	📄
2022.08.09	決算・通社報告	2023年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結) (279KB)	📄
2022.08.09	プレス・PR	2023年3月期 第1四半期 (2022年4月～6月) の主な完工工事 (143KB)	📄
2022.08.09	その他	東鉄工業ウェブサイトリニューアルに関するお知らせ	-
2022.08.09	決算・通社報告	2023年3月期 第1四半期報告書 (120KB)	📄

ニュース一覧へ >



IR情報

IRニュース

2022.08.09	決算・通社報告	「株式報酬制度」の導入に伴う自己株式の処分に関するお知らせ (115KB)	📄
2022.08.09	決算・通社報告	2023年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結) (279KB)	📄
2022.08.09	決算・通社報告	2023年3月期 第1四半期報告書 (120KB)	📄



# 本日はご清聴誠にありがとうございました。

## ■ 免責事項

本資料は、当社の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

## ■ お問い合わせ先

東鉄工業株式会社  
経営企画本部 広報・IR部

藤井 剛 中平 徹

 03-5369-7611 (IR直通)

 コーポレートサイト  
<https://www.totetsu.co.jp/>

 IR情報  
<https://www.totetsu.co.jp/ir/>